

国際理解教育部会

1. 研究課題

21 世紀に生きる子どもたちを育てる国際理解教育の在り方はどうあるべきか。

～教育課程の中で、「多様な世界との関わり」「多文化共生」などの国際理解教育の領域をどのように位置付け、教材を開発し、実践するか～

2. 討議の柱

教育課程の中で、「多様な世界との関わり」「多文化共生」などの国際理解教育の領域をどのように位置付け、教材を開発し、実践するか

3. 研究協議会時の交流体制及び運営体制

(1) 討議の方法

講演、帰国報告会、ワークショップに参加し、情報交換や意見交換を通じて研修を深める。
分科会は、帰国報告会、ワークショップを予定している。また、部会員が作成したレポートを全体会の中で還流する。

(2) 分科会の構成

①帰国報告会

②ワークショップ

詳しい内容については部会だよりで連絡する。
分科会の振り分けは、当日、参加者の希望で振り分ける。

(3) 運営体制

部会役員を中心に運営を行い、駐車場については会場校の部会員の協力を得る。

(4) レポート

①内容

- ・実践レポート
- ・教育課程との関連に関わるレポート

②形式

- ・形式は自由
- ・個人または学校単位で提出する
- ・全部会員の取組になるように配慮する

③締め切り

- ・締め切り等の詳細は、部会だよりにてお知らせする。7月31日（金）締切を予定。

(5) 司会、提言、記録者等

分科会

運営・司会	
有本 憲司	末広小学校
宮浦 匡典	江別第二小学校
高橋 裕之	花川中学校
喜多 千尋	末広小学校
吉田 貴樹	中央小学校
及川 るり子	千歳中学校
村橋 裕	江別第一小学校
村山 久恵	江別第二小学校
荒川 航助	大麻中学校
全体会・提言（講演）	
口岩 竜馬	江別中央小学校

(6) 会場：江別市立江別第二小学校

（文責 高橋 裕之）